

自分年金と資産運用 資産運用により年金額が変わる

- 1 自分年金というのは、手元にあるお金を取り崩しながら、年金を受け取るしくみのことをいいます。年金保険や預貯金、投資信託などを使うと自分年金を作れます
- 2 自分年金の運用は、原則として、自分で行います。年金で取り崩していない元本部分は資産運用することになります。運用の成果がよいと年金額が増えます
- 3 条件によって変わりますが、0.5%で運用したときより、5.0%で運用したとき、年金の受取総額は約1.5倍になります。資産運用の知識が自分年金には必要です

自分年金

いわゆる自分年金とは、(1)手元にあるお金を毎月(年)取り崩して年金のようにお金を受け取る(2)手元にあるお金は(取り崩されて)、数(十)年後にはゼロになるしくみのものです。

年金保険は自分年金をパッケージ化した商品ですし、預貯金や投資信託などを使って自分年金を創り出すこともできます。

自分年金と資産運用

自分年金には資産運用の知識が役に立ちます。なぜなら、将来の年金として支払われていない部分は金融資産として保有しています。この金融資産を殖やすことが資産運用です。もし、上手に資産運用できるのであれば、元本があまり減らないので、多くの金額を年金として受け取ることができます。自分年金と資産運用はつなが

っているのです。

預貯金や年金保険では、あまり利回りが期待できません。それゆえ、年金額も低くなります。

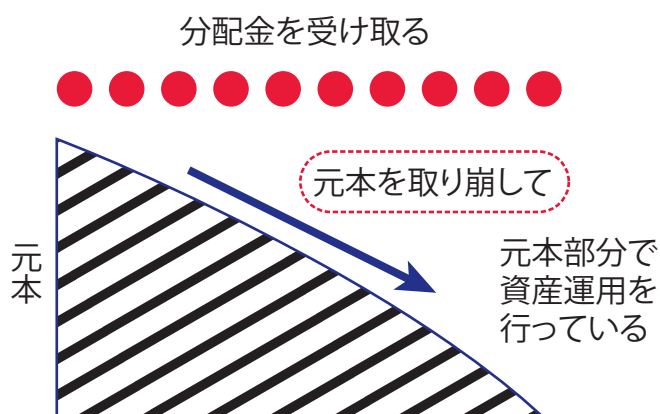


計算してみると…

手元に1,000万円あるとします。この金額を20年にわたって取り崩す自分年金を考えてみましょう。

もし、運用利回りが0.5%であれば受け取る年金の合計は1,051万円です。ところが、5.0%の運用利回りを達成できたとします。そうすると、年金の受け取り合計額は1,577万円になります。約1.5倍になるのです。自分年金で大切なのは、資産運用の知識なのです。

自分年金といわれているもの



資産運用に関する相談はお気軽に

Barms
Corporation Co., Ltd.

発行元:バームスコーポレーション(有)
神奈川県川崎市宮前区土橋2-2-2-301
tel (044) 854-8480 fax (044) 856-7268
mail pinfo@barms.jp http://www.barms.jp